

斎藤清版画展
青に佇む

ao
ni
tatazumu



裏繁梯 青沼 1955(昭和30)年 紙・木版 Urabandai, Aonuma



⑦
5
tue
↓
⑨
25
sun

[開館時間]午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日]毎週月曜日(ただし8月15日と9月は全日開館)

[観覧料]一般510円(410円) 高・大学生300円(200円) 中学生以下無料(カッコ内は団体料金)



夕ヒナ(C) 1971年 紙・木版



さざ波 1994年 紙・木版



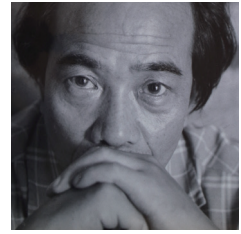
あれっ三姿 1987年 紙・木版



霊峰(15)晴天なり 1980年 紙・木版

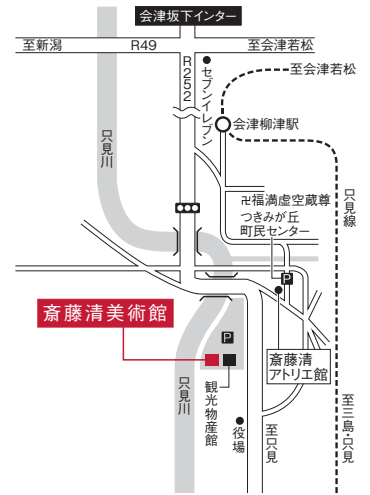
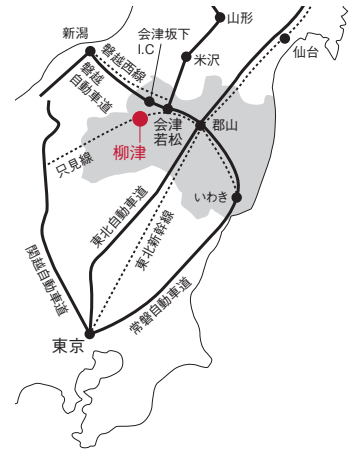


影 1970年 紙・木版



齋藤 清 Kiyoshi Saito

1907年(明治40年)福島県会津に生まれる。安井曾太郎氏の木版画作品に触発され、木版画制作へ傾倒。1951年、サンパウロビエンナーレ展に出品された〈凝視(花)〉が在サンパウロ日本人賞を受賞。戦後日本人として初の国際展での受賞となり、日本の現代版画の素晴らしさと齋藤清の名を世界中に広めることとなった。以後、国内外で数多くの荣誉に輝き、1995年、文化功労者に顕彰される。1997年、永眠。享年90歳。



車でご来館になる場合
東北自動車道 → 磐越自動車道 → 会津坂下IC → R252を柳津町方面へ約5km(道の駅 会津柳津内)
電車でご来館になる場合(JR利用)
東京(東北新幹線) → 郡山(磐越西線) → 会津若松(只見線) → 会津柳津

〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187
TEL 0241-42-3630
e-mail bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

「版画は僕にとって、素材と刀を使って働くことではなく、絵画を創作することなんだ。」(『齋藤清語録』齋藤清美術編)

「版画家」として知られている齋藤清ですが、常に油彩画家としての想いがあったようです。

そんな齋藤清が構図と同様に大切にしていたのが「配色」。

色の持つイメージを巧みにモチーフの中へ取り込んだ作品を数多く残しています。

色彩との対峙、そして「青」への想い。

それは、水色、紺色、藍色、群青色、碧色など、多様な青色からの選択と配置に伺えます。

今回の企画展では、齋藤清の「青」に注目し、緻密で大胆な色彩設計の足跡を辿ります。

やないづ町立
齋藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU